

大都市データ

川崎市をはじめ20の政令指定都市と東京都区部の21大都市は「大都市統計協議会」を設置して、各都市の各種統計情報を集約し、毎年「大都市比較統計年表」を作成、発行しています。

ここでは、「大都市比較統計年表(平成27年)」などをもとに、主要な統計情報からみた川崎市及び各都市の特徴をまとめました。



1

人口・世帯数及び面積

●人口密度は大都市で第3位

都 市 名	政令指定都市 への移行 年月日	区 数	人 口 (人)	世帯数 (世帯)	面 積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)	昼夜間 人口比率 (常住人口=100)	平成28年度 当初予算額 (百万円)
1	東 京 都 区 部	—	9,375,279	4,886,002	626.70	14,960	129.8	7,011,000
2	大 阪 市 市 部	23	2,702,033	1,373,670	225.21	11,998	131.7	1,650,910
3	川 崎 市 市 部	24	1,489,477	703,945	144.35	10,319	88.3	638,982
4	横 濱 市 市 部	7	3,731,293	1,660,256	435.29	8,572	91.7	1,514,316
5	名 古 屋 市 市 部	18	2,304,794	1,072,913	326.45	7,060	112.8	1,085,601
6	さい たま 市 市 部	16	1,275,331	543,250	217.43	5,865	93.0	468,920
7	さい とう 市 市 部	10	837,603	352,768	149.82	5,591	93.6	385,608
8	さい ぎやう 市 市 部	7	1,553,778	778,562	343.39	4,525	110.8	784,538
9	福 岡 市 市 部	7	973,549	422,916	271.76	3,582	97.9	400,400
10	千 葉 市 市 部	6	1,535,765	710,733	557.02	2,757	102.2	727,342
11	相 模 原 市 市 部	9	721,552	315,030	328.82	2,194	88.3	257,700
12	北 京 市 市 部	3	956,243	427,701	491.95	1,944	102.3	551,454
13	熊 本 市 市 部	7	379,606	317,466	390.32	1,895	102.2	302,810
14	京 都 市 市 部	5	1,474,735	711,558	827.83	1,781	109.0	727,698
15	京 崎 市 市 部	11	1,958,405	932,808	1,121.26	1,747	100.4	936,550
16	仙 臺 市 市 部	10	1,084,674	504,087	786.30	1,379	106.1	506,676
17	広 島 市 市 部	5	1,196,380	536,884	906.53	1,320	101.4	598,990
18	新 潟 市 市 部	8	807,450	333,296	726.45	1,112	101.5	359,300
19	浜 松 市 市 部	8	720,571	320,340	789.96	912	103.6	284,324
20	岡 山 市 市 部	7	797,164	312,525	1,558.06	512	99.3	295,200
21	静 岡 市 市 部	4	701,803	288,249	1,411.90	497	103.0	282,200

*人口・世帯数は平成28年10月1日現在。但し、岡山市の世帯数は平成28年9月末現在の住民基本台帳人口を記載

*昼夜間人口比率は平成27年国勢調査

*平成28年度当初予算額の東京都区部は、「都」の数値

データチェック

人口及び世帯数が最も多いのは東京都区部で、次いで横浜市、大阪市の順となっており、川崎市は人口第8位、世帯数第9位となっています。また、面積が最も広いのは浜松市で、次いで静岡市、札幌市の順となっており、川崎市は最も狭く第21位です。人口密度は東京都区部が最も高く、次いで大阪市、川崎市の順となっています。

昼夜間人口比率をみると、大阪市の最も高く、次いで東京都区部、名古屋市の順となっています。一方、昼夜間人口比率が最も低いのは川崎市と相模原市で、次いで横浜市の順となっています。

2

人口動態

●自然増加数が大都市で第2位

(単位:人)(平成27年中)

都 市 名	人口増加数 (自然増加+ 社会増加)	自然動態			社会動態			人口増加 比率 (人口増加数/人口)		
		自然増加	出生	死亡	社会増加	市(都)外との移動	市(都)内移動		その他の増減	
1	東 京 都 区 部	103,114	6,302	83,449	77,147	96,812	65,925	2,296	28,591	1.11%
2	川 崎 市 市 部	14,171	4,444	15,015	10,571	9,727	11,579	—	▲1,852	0.96%
3	福 岡 市 市 部	14,641	3,708	14,987	11,279	10,933	12,394	31	▲1,492	0.95%
4	さい とう 市 市 部	9,597	1,007	10,938	9,931	8,590	8,865	—	▲275	0.76%
5	広 島 市 市 部	2,632	736	10,853	10,117	1,896	2,349	—	▲453	0.22%
6	仙 臺 市 市 部	2,994	697	9,247	8,550	2,297	2,666	8	▲377	0.28%
7	熊 本 市 市 部	305	314	7,087	6,773	▲9	▲9	—	—	0.04%
8	横 濱 市 市 部	7,047	195	30,928	30,733	6,852	8,081	99	▲1,328	0.19%
9	相 模 原 市 市 部	1,588	▲95	6,527	6,622	1,683	2,526	—	▲843	0.22%
10	相 模 原 市 市 部	1,498	▲185	5,567	5,752	1,683	1,661	—	22	0.21%
11	千 葉 市 市 部	5,487	▲604	7,481	8,085	6,091	2,784	—	3,307	0.56%
12	浜 松 市 市 部	▲1,290	▲1,042	6,970	8,012	▲248	340	—	▲588	▲0.16%
13	名 古 屋 市 市 部	8,750	▲1,180	20,270	21,450	9,930	11,172	217	▲1,459	0.38%
14	堺 市 市 部	▲1,759	▲1,199	7,100	8,299	▲560	▲234	—	▲326	▲0.21%
15	新 潟 市 市 部	▲1,502	▲2,015	6,257	8,272	513	581	—	▲68	▲0.19%
16	静 岡 市 市 部	▲3,568	▲2,634	5,241	7,875	▲934	▲558	—	▲376	▲0.51%
17	北 京 市 市 部	▲5,400	▲2,744	7,942	10,686	▲2,656	▲3,088	625	▲193	▲0.56%
18	京 都 市 市 部	66	▲2,878	11,288	14,166	2,944	3,773	27	▲856	0.00%
19	京 崎 市 市 部	5,816	▲3,005	14,667	17,672	8,821	6,766	—	2,055	0.30%
20	神 戸 市 市 部	▲2,121	▲3,435	12,140	15,575	1,314	2,518	—	▲1,204	▲0.14%
21	大 阪 市 市 部	14,294	▲5,706	22,973	28,679	20,000	20,875	—	▲875	0.53%

*大阪市の「市外との移動」に「市内移動」を含む。

データチェック

平成27年1年間の川崎市の人口増加数は14,171人となっています。

自然増加数が4千人を超えているのは、東京都区部と川崎市だけです。

3

年齢別人口

●生産年齢人口構成比は大都市で最も高く、平均年齢は最も低い

(単位:人) (平成27年10月1日)

都 市 名	総数	年齢階級別						平均年齢
		15歳未満	構成比	15～64歳	構成比	65歳以上	構成比	
1 川 崎 市	1,475,213	184,135	12.8%	972,976	67.7%	279,482	19.5%	42.8
2 福 岡 市	1,538,681	199,923	13.3%	996,401	66.0%	312,331	20.7%	43.1
3 仙 台 市	1,082,159	129,309	12.5%	674,873	65.0%	234,360	22.6%	44.3
4 さ い た ま 市	1,263,979	164,722	13.2%	799,279	64.0%	284,138	22.8%	44.3
5 広 島 市	1,194,034	166,427	14.2%	730,388	62.1%	279,311	23.7%	44.4
6 東 京 都 区 部	9,272,740	1,002,130	11.0%	6,088,409	67.0%	1,997,870	22.0%	44.5
7 岡 崎 市	719,474	97,043	13.7%	435,475	61.5%	175,013	24.7%	44.7
8 相 模 原 市	720,780	88,850	12.4%	454,821	63.6%	171,040	23.9%	44.8
9 熊 本 市	740,822	103,433	14.1%	452,822	61.7%	177,325	24.2%	44.8
10 横 浜 市	3,724,844	468,535	12.7%	2,368,291	64.0%	865,490	23.4%	44.9
11 名 古 屋 市	2,295,638	282,497	12.5%	1,429,795	63.3%	545,210	24.2%	45.0
12 千 葉 市	971,882	122,062	12.7%	597,580	62.4%	238,213	24.9%	45.4
13 大 阪 市	2,691,185	295,298	11.2%	1,682,798	63.6%	668,698	25.3%	45.8
14 大 塚 市	839,310	112,964	13.6%	495,966	59.5%	224,064	26.9%	45.8
15 京 都 府 東 区	1,475,183	162,141	11.3%	886,422	62.0%	381,132	26.7%	45.9
16 札 幌 市	1,952,356	221,013	11.4%	1,235,516	63.7%	483,534	24.9%	46.2
17 神 戸 市	797,980	107,411	13.6%	473,435	60.0%	208,355	26.4%	46.2
18 神 戸 市 東 区	1,537,272	185,084	12.2%	921,967	60.7%	411,427	27.1%	46.6
19 新 潟 市	810,157	98,367	12.2%	488,815	60.8%	217,107	27.0%	46.8
20 静 岡 市	704,989	85,299	12.2%	415,466	59.3%	200,229	28.6%	47.5
21 北 九 州 市	961,286	119,448	12.6%	549,397	58.1%	277,120	29.3%	47.5

*総数には年齢不詳を含む。

(国勢調査)

データチェック

年少人口(15歳未満)の構成比が最も高いのは広島市で、次いで熊本市、生産年齢人口(15～64歳)の構成比が最も高いのは川崎市で、次いで東京都区部となっています。また、老年人口(65歳以上)の構成比が最も高いのは北九州市で、最も低いのは川崎市となっています。平均年齢は、川崎市が最も低く42.8歳で、最も高いのは静岡市と北九州市の47.5歳となっています。

4

就業者数

●労働力率は大都市で第2位

(単位:人) (平成27年10月1日)

都 市 名	15歳以上人口		労働力人口			非労働力人口	労働力率 B/A
	総数	うち労働力状態不詳を除く(A)	総数(B)	就業者	完全失業者		
1 東 京 都 区 部	8,086,279	6,317,066	4,133,813	3,979,836	153,977	2,183,253	65.4%
2 川 崎 市	1,252,458	1,076,831	702,036	676,420	25,616	374,795	65.2%
3 名 古 屋 市	1,975,005	1,814,234	1,133,517	1,088,005	45,512	680,717	62.5%
4 福 岡 市	1,308,732	1,130,637	703,779	667,895	35,884	426,858	62.2%
5 横 浜 市	681,790	673,121	418,346	401,729	16,617	254,775	62.2%
6 大 阪 市	2,351,496	1,922,894	1,187,973	1,120,195	67,778	734,921	61.8%
7 広 島 市	1,009,699	958,584	589,864	566,566	23,298	368,720	61.5%
8 相 模 原 市	625,861	554,670	339,361	324,631	14,730	215,309	61.2%
9 京 都 府 東 区	1,083,417	1,003,857	611,916	587,220	24,696	391,941	61.0%
10 静 岡 市	615,695	602,387	366,564	350,852	15,712	235,823	60.9%
11 熊 本 市	630,147	588,055	357,148	340,861	16,287	230,907	60.7%
12 横 浜 市 東 区	3,233,781	2,869,924	1,738,600	1,673,913	64,687	1,131,324	60.6%
13 岡 崎 市	610,488	589,896	356,420	341,230	15,190	233,476	60.4%
14 京 都 府 南 区	1,267,554	1,160,456	696,917	665,209	31,708	463,539	60.1%
15 新 潟 市	705,922	680,514	408,058	391,863	16,195	272,456	60.0%
16 仙 台 市	909,233	846,783	504,146	479,339	24,807	342,637	59.5%
17 千 葉 市	835,793	758,300	450,623	430,638	19,985	307,677	59.4%
18 札 幌 市	1,719,050	1,543,984	892,932	844,313	48,619	651,052	57.8%
19 堺 市	720,030	673,529	385,895	365,836	20,059	287,634	57.3%
20 神 戸 市 東 区	1,333,394	1,224,099	694,563	659,182	35,381	529,536	56.7%
21 北 九 州 市	826,517	786,714	439,162	415,092	24,070	347,552	55.8%

*15歳以上人口総数には労働力状態不詳を含む。

(国勢調査)

データチェック

就業者数が最も多いのは東京都区部で、次いで横浜市、大阪市の順で、川崎市は第6位となっています。労働力率が最も高いのは東京都区部で、次いで川崎市、名古屋市の順となっています。

5

事業所(民営)

● 従業者300人以上の事業所の構成比は大都市で第2位

(単位:事業所)(平成26年7月1日)

都 市 名	総事業所数	従業者規模別事業所数				300人以上 の構成比
		1人~29人	30人~299人	300人以上	出向・派遣従業者のみ	
1 東京都区部	521,270	479,055	36,771	2,711	2,733	0.520%
2 川崎市	42,616	39,494	2,793	152	177	0.357%
3 大阪市	190,629	176,899	12,161	646	923	0.339%
4 横浜市	119,509	110,191	8,401	382	535	0.320%
5 千葉市	30,059	27,420	2,388	94	157	0.313%
6 札幌市	75,749	70,263	4,827	217	442	0.286%
7 さいたま市	42,429	39,235	2,923	114	157	0.269%
8 福岡市	74,256	68,684	4,929	190	453	0.256%
9 京都市	74,419	70,144	3,792	187	296	0.251%
10 相模原市	23,526	22,000	1,388	58	80	0.247%
11 神戸市	70,797	66,375	3,939	166	317	0.234%
12 名古屋	124,636	115,749	8,005	291	591	0.233%
13 仙台市	49,555	45,983	3,146	114	312	0.230%
14 熊本市	31,444	29,550	1,740	68	86	0.216%
15 北九州	43,439	40,758	2,462	90	129	0.207%
16 広島	54,807	51,138	3,281	105	283	0.192%
17 堺市	29,764	27,760	1,820	57	127	0.192%
18 新潟	36,591	34,172	2,145	70	204	0.191%
19 浜松	37,073	34,794	2,093	69	117	0.186%
20 静岡	36,534	34,502	1,833	62	137	0.170%
21 岡山	32,388	30,181	1,960	53	194	0.164%

(経済センサス-基礎調査)

データチェック

事業所数は東京都区部が最も多く、次いで大阪市、名古屋市の順となっています。
また、事業所の従業者規模をみると、300人以上の事業所の構成比は東京都区部が最も高く、次いで川崎市、大阪市の順となっています。

6

工業(従業者4人以上の事業所)

● 製造品出荷額等、従業者1人当たり製造品出荷額等は大都市で第1位

(単位:事業所、人、百万円)(平成26年12月末日)

都 市 名	事業所数			従業者数	製造品出荷額等	従業者1人 当たり製造品 出荷額等
	総数	4~29人	30人以上			
1 川崎市	1,251	1,042	209	48,120	4,548,439	94.52
2 堺市	1,471	1,172	299	50,779	3,821,279	75.25
3 仙台	518	408	110	15,486	1,088,363	70.28
4 千葉	422	295	127	20,647	1,234,749	59.80
5 広島	1,239	977	262	54,007	2,714,562	50.26
6 横浜	2,479	1,995	484	90,600	4,332,961	47.83
7 神戸	1,617	1,284	333	63,411	2,831,802	44.66
8 北九州	1,036	759	277	48,009	2,128,239	44.33
9 静岡	1,488	1,247	241	45,022	1,758,416	39.06
10 名古屋	4,112	3,588	524	100,136	3,549,381	35.45
11 岡山	813	618	195	27,379	962,395	35.15
12 相模原	941	745	196	35,281	1,224,071	34.69
13 京都	2,296	1,981	315	62,501	2,109,247	33.75
14 新潟	1,077	833	244	35,985	1,122,107	31.18
15 大阪	5,727	5,007	720	117,897	3,634,826	30.83
16 福岡	793	658	135	20,733	636,524	30.70
17 浜松	2,104	1,661	443	70,032	2,005,774	28.64
18 さいたま	970	822	148	26,609	755,894	28.41
19 東京都区部	9,415	8,595	820	150,908	3,209,634	21.27
20 熊本	492	387	105	18,821	391,349	20.79
21 札幌	940	749	191	27,665	529,579	19.14

(工業統計調査)

データチェック

製造品出荷額等が最も多いのは川崎市で、次いで横浜市、堺市の順となっています。また、従業者1人当たりの製造品出荷額等でも、川崎市は第1位と高い労働生産性を示しています。

7

商業

●1事業所当たり年間商品販売額は大都市で第14位

(単位:事業所、人、億円) (平成26年7月1日)

都 市 名	卸 売 業			小 売 業			1事業所当たり 年間商品販売額
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	
1 東京都	32,056	647,497	1,489,775	52,011	440,222	124,302	19.20
2 京都市	9,490	119,087	204,724	13,287	114,490	29,565	10.29
3 名古屋市	15,322	207,328	308,055	18,876	144,509	39,423	10.16
4 大阪市	4,007	40,826	66,855	5,707	50,508	12,333	8.15
5 福岡市	5,643	63,049	95,851	8,536	73,765	17,504	7.99
6 札幌市	4,477	46,005	68,850	7,941	88,787	20,247	7.17
7 仙台市	3,754	38,668	55,741	6,605	58,314	12,560	6.59
8 さいたま市	2,124	25,118	31,361	5,081	52,517	11,939	6.01
9 千葉市	1,421	17,700	19,516	3,851	41,336	9,378	5.48
10 横浜市	4,708	55,736	51,041	14,217	148,080	34,756	4.53
11 岡山市	2,024	20,133	17,870	4,287	36,761	8,050	4.11
12 新潟市	2,245	22,077	22,330	5,434	42,173	8,547	4.02
13 神戸市	3,376	32,344	31,931	9,181	75,272	16,572	3.86
14 川崎市	1,364	13,582	11,776	4,950	50,255	9,846	3.42
15 静岡県	2,259	19,250	17,169	5,276	36,164	8,369	3.39
16 熊本県	1,748	16,664	13,112	4,361	34,258	7,413	3.36
17 兵庫県	2,020	17,466	15,081	5,357	36,977	8,795	3.24
18 京都府	3,794	41,878	27,392	10,243	78,876	16,500	3.13
19 堺市	1,154	10,174	7,884	3,505	31,206	6,136	3.01
20 相模原市	815	6,263	4,810	2,759	30,001	5,558	2.90
21 北九州	2,082	17,146	14,999	6,514	46,158	9,131	2.81

(商業統計調査)

データチェック

卸売業では、事業所数、従業者数、年間商品販売額の3項目とも東京都区部が最も多く、次いで大阪市、名古屋市の順となっています。

小売業では、事業所数、従業者数、年間商品販売額の3項目とも東京都区部が最も多く、事業所数、年間商品販売額は大阪市、横浜市の順、従業者数は横浜市の順となっています。

また、卸売業と小売業の年間商品販売額を合わせて算出した1事業所当たり年間商品販売額は、東京都区部が最も多く、次いで名古屋市、大阪市の順になっており、川崎市は第14位となっています。

8

貿易

●外国貿易海上輸出入額の総額は大都市で第7位

(単位:10億円、千トン) (平成27年)

都 市 名	外国貿易海上輸出入額			海上輸(移)入貨物数量			
	総額	輸出	輸入	輸出	輸入	移出	移入
1 東京都	17,612	6,246	11,366	12,933	33,766	13,905	24,729
2 京都市	16,871	11,472	5,399	55,236	75,758	35,228	31,758
3 横浜市	12,154	7,531	4,623	31,591	42,897	16,308	23,945
4 神戸市	8,817	5,551	3,266	23,297	27,888	18,839	26,978
5 大阪市	8,421	3,420	5,002	9,693	24,963	20,043	25,274
6 千葉市	4,555	994	3,561	2,216	14,728	4,291	9,383
7 川崎市	3,993	1,565	2,427	10,753	46,042	16,860	13,021
8 静岡県	2,769	1,810	959	3,859	6,058	957	3,327
9 福岡市	2,733	1,621	1,113	6,812	10,159	3,522	10,837
10 北九州	2,415	1,225	1,190	7,280	26,022	31,993	34,036
11 堺市	2,093	494	1,600	1,320	19,819	7,358	8,810
12 広島市	1,861	1,460	401	4,354	1,842	2,589	3,497
13 仙台市	891	300	591	1,677	8,513	9,276	10,404
14 新潟市	767	121	646	1,151	15,886	6,816	8,349
15 岡山市	467	45	422	12	—	249	1,220
16 京都市	128	96	32	—	—	—	—
17 熊本市	32	17	14	49	102	139	422
- 札幌市	—	—	—	—	—	—	—
- さいたま市	—	—	—	—	—	—	—
- 相模原市	—	—	—	—	—	—	—
- 横浜市	—	—	—	—	—	—	—

*外国貿易海上輸出入額は税関別貿易額である。

(貿易統計)

(港湾調査)

データチェック

外国貿易海上輸出入額の総額をみると、最も多いのは東京都区部で、次いで名古屋市、横浜市の順となっています。川崎市は第7位になっており、輸出額に比べて輸入額が多くなっています。

また、外国貿易を示す海上輸出入貨物数量では、輸出・輸入ともに名古屋市が最も多くなっています。川崎市は輸出货量に比べて輸入量が多く、輸入量は名古屋市に次いで第2位となっています。

9

住宅

● 民営借家に住む世帯の割合は大都市で6番目に高い

(単位:世帯)(平成27年10月1日)

都 市 名	住宅に住む 一般世帯	持ち家	借 家			間借り	持ち家 割合	民営借家 割合
			公営・都市再生機構・ 公社の借家	民営の借家	給与住宅			
1 福 岡 市	753,984	282,648	64,562	374,695	26,045	6,034	37.5%	49.7%
2 札幌市	912,774	447,596	36,967	398,979	17,972	11,260	49.0%	43.7%
3 東京都都区部	4,723,233	2,131,735	308,212	2,060,441	155,316	67,529	45.1%	43.6%
4 仙台市	491,762	235,969	18,961	213,631	20,640	2,561	48.0%	43.4%
5 大阪市	1,333,086	586,551	140,208	569,328	26,401	10,598	44.0%	42.7%
6 川崎市	672,731	331,414	28,951	283,924	22,482	5,960	49.3%	42.2%
7 熊本市	311,342	161,091	18,860	119,491	9,365	2,535	51.7%	38.4%
8 京都市	696,570	373,990	38,180	266,152	11,805	6,443	53.7%	38.2%
9 名古屋	1,037,072	499,576	99,662	395,215	35,034	7,585	48.2%	38.1%
10 広島市	521,769	278,043	20,467	197,556	20,503	5,200	53.3%	37.9%
11 岡崎市	304,753	172,044	6,997	113,598	9,437	2,677	56.5%	37.3%
12 相模原	307,898	187,880	11,808	100,227	5,320	2,663	61.0%	32.6%
13 北九	417,333	231,109	45,821	126,823	10,357	3,223	55.4%	30.4%
14 さい	523,782	325,892	18,059	158,150	17,552	4,129	62.2%	30.2%
15 横	1,605,481	970,366	94,509	482,878	43,227	14,501	60.4%	30.1%
16 浜	304,552	197,170	8,067	89,571	7,654	2,090	64.7%	29.4%
17 新	317,986	209,797	6,937	92,995	6,707	1,550	66.0%	29.2%
18 静	282,133	179,356	10,596	82,077	7,880	2,224	63.6%	29.1%
19 神	694,641	399,926	82,390	192,661	14,340	5,324	57.6%	27.7%
20 千	409,653	250,270	40,376	105,227	11,440	2,340	61.1%	25.7%
21 堺	345,467	207,603	51,600	77,620	6,118	2,526	60.1%	22.5%

(国勢調査)

データチェック

住宅に住む一般世帯のうち、持ち家に住む世帯の割合が最も高いのは新潟市で、次いで浜松市、静岡市となっており、川崎市は15位となっています。

一方、民営借家に住む世帯の割合は、福岡市が最も高く、次いで札幌市、東京都都区部となっており、川崎市は6位となっています。

10

消費者物価地域差指数

● 消費者物価地域差指数(総合)は大都市で最も高い

都 市 名	平成24年平均 (51市平均=100)		平成25年平均 (51市平均=100)		平成26年平均 (全国=100)		平成27年平均 (全国=100)	
	総合	食料	総合	食料	総合	食料	総合	食料
1 川 崎 市	105.7	104.4	105.4	104.4	105.0	101.7	104.4	101.5
2 東 京 都 区 部	106.0	105.0	105.9	104.9	106.1	103.9	104.3	103.2
3 横 浜 市	106.7	105.8	106.0	105.9	104.8	103.5	103.9	102.9
4 相 模 原 市	103.6	104.5
5 さい たら 市	102.9	102.3	103.3	102.5	103.0	102.2	103.2	101.4
6 神 戸 市	102.3	102.7	102.2	102.4	101.3	102.4	101.6	101.4
7 北 九 州 市	100.6	101.2	100.6	100.6	101.2	100.6	101.0	99.9
8 大 京 都 市	101.5	100.5	101.2	100.7	101.3	100.9	100.8	100.6
9 堺 市	100.7	101.2	100.6	101.3	100.6	101.7	100.5	100.9
10 千 古 屋 市	99.2	100.1	99.1	101.0	100.0	100.3	100.2	100.6
11 名 古 屋 市	99.7	99.8	99.1	98.4	99.9	100.1	99.7	99.4
12 新 潟 市	98.6	98.6	99.1	98.9	99.0	99.5	99.5	101.0
13 静 岡 市	99.7	99.3	100.0	99.2	99.3	99.6	99.3	99.8
14 広 島 市	101.2	101.1	99.8	101.3	98.5	100.7	99.3	101.4
15 岡 山 市	100.7	101.0	100.3	100.3	99.1	101.8	98.9	100.8
16 札 幌 市	99.3	96.7	100.2	97.9	98.7	99.5	98.7	99.9
17 仙 台 市	97.8	97.1	98.3	97.6	98.4	97.4	98.5	97.1
18 熊 本 市	100.6	101.2	100.0	99.8	98.9	101.2	98.3	101.7
19 福 岡 市	97.4	94.9	97.5	94.7	97.7	95.7	98.3	96.9
20 北 九 州 市	96.7	97.6	96.6	97.4	97.1	98.3	97.8	98.3
21 浜 松 市	98.1	97.2	98.4	97.2	97.8	98.4	97.6	98.7

*51市とは都道府県庁所在地(東京都については東京都都区部)及び政令指定都市(川崎市、浜松市、堺市及び北九州市)である。

*平成26年から全国の平均を基準(=100)とした年平均の指数となっている。

データチェック

平成27年の消費者物価地域差指数(全国平均を100とした場合)の地域ごとの年平均指数)をみると、総合では川崎市が最も高く、次いで東京都都区部、横浜市の順となっており、食料では相模原市が最も高く、次いで東京都都区部、横浜市と続き、川崎市は5位となっています。

また、平成27年平均の総合で全国平均を下回っているのは、名古屋、新潟市、静岡市など11市となっており、食料では大阪市、札幌市、静岡市など8市となっています。

●1人当たり市民雇用者報酬は大都市で第4位

(単位:百万円)(平成26年度)

都 市 名	市 民 所 得				雇 用 者 報 酬 割 合	財 産 所 得 割 合	企 業 所 得 割 合	1人当たり 市民雇用者報酬 (千円)
	総 額	雇用者報酬	財産所得	企業所得				
1 東京都	60,415,546	34,097,781	5,433,621	20,884,145	56.4%	9.0%	34.6%	6,328
2 名古屋市	8,111,934	5,347,800	689,836	2,074,298	65.9%	8.5%	25.6%	6,068
3 大阪市	8,324,557	5,379,652	1,183,257	1,761,648	64.6%	14.2%	21.2%	5,625
4 川崎市	4,542,366	3,605,640	244,821	691,905	79.4%	5.4%	15.2%	5,375
5 仙台市	3,751,268	2,281,167	177,955	1,292,145	60.8%	4.7%	34.4%	5,191
6 千葉市	3,059,269	2,051,195	229,713	778,362	67.0%	7.5%	25.4%	5,074
7 福岡市	4,758,300	3,025,843	294,377	1,438,079	63.6%	6.2%	30.2%	4,894
8 さいたま市	3,880,163	2,701,922	231,697	946,544	69.6%	6.0%	24.4%	4,721
9 北九州市	2,670,297	1,793,025	145,074	732,198	67.1%	5.4%	27.4%	4,700
10 神戸市	4,656,271	2,888,520	343,423	1,424,329	62.0%	7.4%	30.6%	4,586
11 横浜市	11,493,489	7,970,254	969,259	2,553,976	69.3%	8.4%	22.2%	4,563
12 広島市	3,374,351	2,392,243	173,133	1,168,975	70.9%	5.1%	34.6%	4,512
13 新潟市	2,293,494	1,522,608	129,023	641,863	66.4%	5.6%	28.0%	4,364
14 札幌市	5,081,151	3,686,319	269,699	1,125,133	72.5%	5.3%	22.1%	4,359
15 岡山県	1,993,655	1,329,848	125,345	538,462	66.7%	6.3%	27.0%	4,321
16 東京都	4,592,896	2,693,177	244,721	1,654,998	58.6%	5.3%	36.0%	3,723
- 相模原市
- 静岡市
- 浜松市
- 堺市
- 熊本市

データチェック

市民所得総額をみると東京都が最も多く、次いで横浜市、大阪市の順となっており、

川崎市は第9位となっています。1人当たり市民雇用者報酬は東京都が最も多く、次いで

名古屋市、大阪市の順となっており、川崎市は第4位となっています。

また、雇用者報酬割合をみると川崎市が最も高く、次いで札幌市、広島市の順となっています。

●人口10万人当たりの交通事故発生件数が最も少ない

(単位:件)(平成27年)

都 市 名	交通事故発生件数		刑法犯認知件数及び検挙件数		
	総数	人口10万人当たりの 交通事故発生件数	認知件数	検挙件数	人口1,000人当たりの 認知件数
1 川崎市	3,416	231.6	9,495	4,195	6.4
2 東京都	22,489	242.5	110,071	29,857	11.9
3 札幌市	5,253	269.1	17,529	5,402	9.0
4 新潟市	2,184	269.6	6,724	2,475	8.3
5 横浜市	10,397	279.1	23,668	10,869	6.4
6 千葉市	3,006	309.3	11,476	3,655	11.8
7 さいたま市	4,412	349.1	12,446	3,384	9.8
8 広島市	4,556	381.6	9,828	3,739	8.2
9 仙台市	4,157	384.1	9,740	2,802	9.0
10 相模原市	2,787	386.7	5,293	2,198	7.3
11 東京都	5,750	389.8	15,934	4,112	10.8
12 熊本市	3,159	426.4	6,370	2,815	8.6
13 大阪市	13,308	494.5	57,807	11,257	21.5
14 神戸市	7,691	500.3	17,687	5,040	11.5
15 堺市	4,300	512.3	11,972	2,246	14.3
16 名古屋市	14,555	634.0	31,628	9,757	13.8
17 岡山市	4,911	682.6	7,186	2,463	10.0
18 福岡市	11,810	767.5	20,033	6,142	13.0
19 静岡市	5,717	810.9	5,072	1,865	7.2
20 北九州市	8,075	840.0	11,052	3,833	11.5
21 浜松市	8,697	1,089.9	5,316	1,696	6.7

*交通事故発生件数は、道路交通法の「道路上」での法規違反による事故数を集計したものである。

*検挙件数は、発生地計上によるものである。

*平成27年10月1日現在の人口で算出

データチェック

人口10万人当たりの交通事故発生件数は川崎市が最も少なく、次いで東京都都区、

札幌市の順となっています。また、人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は横浜市と

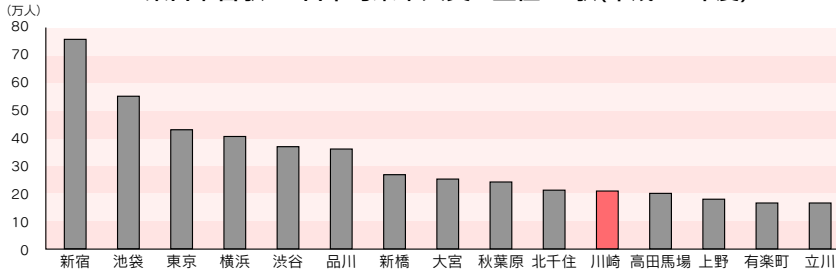
川崎市が最も少なく、次いで浜松市の順となっています。



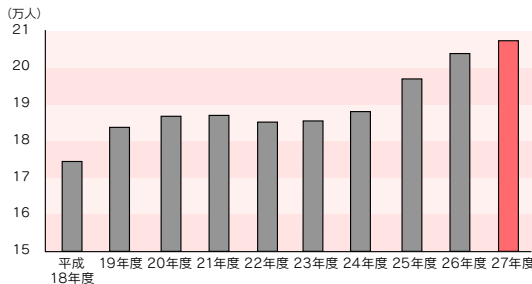
●JR編

JR川崎駅では、平成29年6月に新しい中央北改札が完成し、今後は北口自由通路や北改札が整備される予定です。そこでJR東日本の各駅の乗車人員を比較してみました。1日平均乗車人員は207,725人でJR東日本エリア内で11位となっています。また、1日平均乗車人員の推移については増加傾向にあり、5年連続で増加しています。

JR東日本各駅の1日平均乗車人員の上位15駅(平成27年度)



JR川崎駅1日平均乗車人員の推移(平成18年~27年)



資料:東日本旅客鉄道株式会社

JR東日本 平成27年度

順位	駅名	1日平均乗車人員
1	新宿	760,043
2	池袋	556,780
3	東京	434,633
4	横浜	411,383
5	渋谷	372,234
6	品川	361,466
7	新大塚	265,955
8	大塚	250,479
9	秋葉原	243,921
10	北千住	209,994
11	川崎	207,725
12	高田馬場	202,554
13	上野	181,588
14	有楽町	167,424
15	立川	163,903

●私鉄編

次に私鉄です。川崎市内の駅で1日平均乗降人員の上位に入っているのが、東急東横線では武蔵小杉駅、東急田園都市線では溝の口駅、小田急小田原線では登戸駅、京浜急行本線では京急川崎駅となっています。

東急東横線 平成28年度			東急田園都市線 平成28年度			小田急小田原線 平成28年度			京浜急行本線 平成27年度		
順位	駅名	1日平均乗降人員	順位	駅名	1日平均乗降人員	順位	駅名	1日平均乗降人員	順位	駅名	1日平均乗降人員
1	渋谷	461,241	1	渋谷	688,093	1	新宿	499,919	1	横浜	316,478
2	横浜	358,191	2	溝の口	154,298	2	町田	291,802	2	品川	272,500
3	中目黒	193,943	3	三軒茶屋	136,149	3	代々木上原	255,378	3	泉岳寺	182,372
4	武蔵小杉	175,059	4	あざみ野	135,448	4	登戸	162,422	4	上大岡	143,299
5	日吉	149,163	5	長津田	128,656	5	本厚木	153,562	5	京急川崎	122,931
6	菊名	137,978	6	青葉台	112,606	6	海老名	148,434	6	金沢文庫	69,870
7	綱島	102,364	7	中央林間	106,500	7	相模大野	129,096	7	横須賀中央	67,278
8	自由が丘	98,262	8	二子玉川	100,875	8	新百合ヶ丘	125,659	8	金沢八景	57,353
9	学芸大学	77,224	9	たまプラーザ	82,464	9	下北沢	114,922	9	京急蒲田	53,397
10	大倉山	55,530	10	駒沢大学	78,217	10	成城学園前	88,727	10	平和島	46,493
11	都立大学	48,584	11	桜新町	71,753	11	経堂	76,363	11	追分浜	41,160
12	元住吉	47,085	12	用賀	64,114	12	鶴川	69,224	12	青物横丁	40,067
13	白楽	44,976	13	鷺沼	63,163	13	向ヶ丘遊園	66,684	13	杉田	34,548
14	代官山	32,078	14	池尻大橋	62,135	14	小田原	66,612	14	杉見台	31,698
15	祐天寺	30,877	15	宮前平	51,239	15	千歳船橋	57,112	15	京急鶴見	31,068

資料:東京急行電鉄株式会社

資料:東京急行電鉄株式会社

資料:小田急電鉄株式会社

資料:京浜急行電鉄株式会社